

プロジェクト名：アフガニスタン国中央農業試験場再建計画（事前調査）

（調査期間：2004年12月～1カ月、担当業務：農業試験場再建計画）

調査背景

アフガニスタン国では国民の約8割が農業に従事しており、農業の復興は貧困対策、生計向上に資する重要な課題となっている。カブールの中央農業試験場は農業研究や普及支援の面で重要な役割を担ってきたが、長年の戦乱による施設の破壊や人材の流出により現在はほとんど機能していない。このような状況を受けてアフガニスタン国政府は、施設復旧、人材育成、情報ネットワークの構築等を通じた試験研究及び普及体制の再建を目的とした技術協力プロジェクトを日本政府に要請してきた。

調査概要

既存情報、現地関係機関との協議及び現地調査に基づいて、プロジェクトの基本計画案を策定し、同案について評価5項目の観点から事前調査を実施し、プロジェクトの実施妥当性を検証した。具体的には、R/D、PDM、PO、実施体制の各案ならびに実施までのスケジュール及び双方の準備事項について、確認事項をミニッツにまとめ、アフガニスタン国政府実施機関と署名・合意した。さらに、それらを取りまとめたプロジェクト・ドキュメント案を作成した。

担当事項

- 現地関係者に対するPCMワークショップの実施と、現地の問題点、ニーズ及び課題の確認。
- プロジェクト基本計画案の策定と評価5項目による実施妥当性の検証。
- 中央農業試験場の現状調査と同試験場の施設及び機材の復旧計画概要案の作成。
- 収集情報ならびに現地調査結果の整理・分析に基づいたプロジェクト・ドキュメント案の作成。

